

一般質問

室岡 啓史 議員

持続可能な環境の島づくりへ向けて



【質問】 佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、「佐渡アイランド集落ツーリズム構想」の実現を私は目指している。集落の防災・減災対策をどう考えるか。

【市長】 現在、ハザードマップ改訂作業を行っている。来年度、集落長や地域防災リーダーに地域の危険箇所や避難場所などの説明会を行い、地域の防災力を高めたい。また、事前対応型の治山治水事業について、重要水防箇所の早期改修に重点を置いて要望を続ける。

【質問】 行政視察で秋田県大館市立城西小学校の校長よりお話を伺った。ふるさと教育とキャリア教育とを融合させて、「ふるさとキャリア教育」として地域と

学校とが連携。コミュニティスクールからスクールコミュニティへのシフトが起こっているのと、佐渡市はどう考えるか。

【教育長】 学校と地域の連携が進めば地域や保護者の活動を融合させることが可能となり、学校と地域の双方にとって有益な取り組みが広がるものと期待する。

【質問】 高齢者が元気に輝き続けるムラづくりについて、現両津病院跡地および旧両尾小学校の活用をすべきと考えるがどうか。

【市長】 現両津病院跡地利用については今後検討したい。旧両尾小学校については、両津地区の介護予防活動の拠点とするべく、現在は太鼓を中心とした介護予防教室、世代間交流事業などを実施中である。

【質問】 環境省の一部を佐渡

へ誘致と考えるがどうか。

【市長】 地方創生の視点として好循環につながることから、佐渡市としても経済波及効果などのメリットが想定されるため、今後の国の動向を注視していきたい。

【質問】 持続可能な開発目標『SDGs』の取り組みについて『SaDo』（佐渡）Gsと捉えてはどうか。

【市長】 行政・企業・市民など全ての関係者が統合的に取り組むべきものであり、佐渡市将来ビジョンなどに反映させていきたい。

【質問】 佐渡市当初予算451億円を世帯年収451万円に例えて、市民の皆さまに佐渡市政へ興味を持っていただくべきと考えるが。

【市長】 市の財政状況をご理解いただけるよう、市報さど12月号では市の財政状況の説明を掲載する。

一般質問

上杉 育子 議員

環境ブランド化と高付加価値支援について



【質問】 佐渡環境ブランド化の現状と課題を問う。

【市長】 佐渡市合併直後、佐渡米は毎年5000トンもの売れ残りが発生していた。これを打開するために取り組んだのが生物多様性をテーマにした認証米制度で、この取り組みにより現在では全量売り切れている。当初の目的は達成していると思う。次の目的である認証米の加算販売は、農業協同組合が集荷する認証米の3分の1程度しか認証米として販売されていない。仕組みは作ったので、農業協同組合の販売力の強化が課題と考えている。

【質問】 平成28年産では加算販売1俵当たり1500円を目指しているが、この年の加算金は525円であった。その理由と対応策は何か。

【市長】 有機栽培や自然栽培

【農業政策課長】 認証米として売り切れていない部分はコシヒカリ佐渡米として売れているので3分の1の約500円ぐらいが今の加算金となっている。販売に当たっては農業協同組合に、販売戦略を立ててほしいとお願いしている。市は売るのではなく、認知度を上げるために取り組んでいる。

【質問】 認知度を上げるための政策、対応策は何か。

【農業政策課長】 料理研究家のSNS等による発信や米問屋への周知、生活協同組合関係の方に佐渡に来てもらい米づくりを見ていただき、引き続き購入していただいている産地間交流などを行っている。

【質問】 有機栽培の推進と農産物の高付加価値化への支援策は何か。

【市長】 有機栽培や自然栽培

については高価格帯での販売が可能なので、現時点で支援は考えていない。

【質問】 三条市では市長の提案で有機栽培協議会が発足され、有機栽培を推進している。佐渡市第2次環境基本計画には「有機栽培の推進による農産物の高付加価値支援を行うなど施策を行う」とあるがどのように考えているのか。

【市長】 特に園芸、野菜については現状の収穫量、生産量が根本的に不足している。効率化・生産拡大等を踏まえ、有機栽培についての部分も合わせてどのような形でいくか検討しなければいけないと考える。高付加価値化については、ジァス「トキと共生する佐渡の里山」のブランドマークも作りスタートしている。

有機栽培や自然栽培

一般質問

駒形 信雄 議員

農業被害状況と支援策及び 農業公社の方向性



【質問】 今年、7月の豪雨災害、猛暑、台風21号等により、農作物等への被害が多発した年であり、全体で10億円近い被害状況と聞いているが、影響はどの程度なのか。佐渡市は災害復旧支援資金借入れに対する保証料への補助にとどまっているが、さらなる支援策を考えているのか。

【市長】 被害額は米で約7億1200万円、園芸作物で約2億3200万円、農作物全体では約9億4400万円と推計している。
【産業観光部長】 猛暑、台風などによる具体的な被害状況では、米は未熟粒や乳心白、もみの脱粒など全島規模で被害が発生している。果樹については、南部地区や西三川地区で大きな被害がでており、日焼け果、落果、倒木などの被害が多く見ら

れる。災害等の復旧支援資金は、農協の融資制度で、借入れ後5年間は無利子の融資になる。但し、年率0・25%の信用保証料が必要になるので、佐渡市で信用保証料相当額を支援するが、現在新たな対策は考えていない。

【質問】 国の支援策の中に被災農業者向け経営体育成支援事業がある。これは被災した農業者が経営を維持していくため、農業用ハウス、農業用機械等の再建、修繕を支援するものだが、なぜ要望がなかったのか。

【農業政策課長】 対象がハウス倒壊とか、農業機械が壊れたという被害の資金であり、農協等も情報を確認したが要望がなかった。

【質問】 果樹農業好循環形成総合対策事業は、倒木、枝折れ、塩害等の被害を受け

た果樹産地の継続、再生のため、被害果樹の改植やそれに伴う未収益期間に要する経費等を支援する事業だが、これについても要望がなかったのか。

【農業政策課長】 果樹の倒木については、西三川地区のリンゴが倒木しており、農家の方に被害状況等、話をした中で、この資金を使う予定はないということであった。

【質問】 羽茂農業振興公社の発展的な活用も含めて踏み出していきたいと答弁しているが、具体的な方策は見出されたのか。

【市長】 羽茂農業振興公社には、担い手の育成はもとより、南部地域の農業振興に係る新たな事業展開を期待しており、羽茂農協など関係機関と協議していく。

一般質問

宇治 沙耶花 議員

水産業等、成長産業の 人材育成に力を入れよ



【質問】 将来ビジョンやまち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標が、結果に影響しない数値になっていないか。年度毎に目標をたて、結果を検証すべきではないか。

【市長】 議員指摘のとおり。
【質問】 今年3月に立ち上げた佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会では、どのような決定事項があるか。

【藤本副市長】 スタート体制を作ったということで、これから魂を入れ込む段階だ。
【質問】 学習研修部会では佐渡ならではの人材育成プログラムを作ろうとしている。薬剤師の育成プログラムは完成間近だ。独自の人材育成プログラムを作っている地域は全国で佐渡以外にない。市長は状況を説明すべきではないか。

【市長】 早めに市報等でしっかり説明できる形にしたい。
【質問】 佐渡全体の保育の質が上がれば、佐渡で働いてみたいと思う人材が集まる。6月定例会で提案した指導保育士は来年度予算で考えられているのか。

【質問】 具体的な漁業の種類、就業地域を指定できる若者などがおらずハードルが高い。成功例を集めて、就業ルートを佐渡市が組み立てるべきではないか。

【農林水産課長】 里親を募り、受入れ環境をつくりたい。
【質問】 水産業は成長産業だ。先行き後継者の不安がある中、意欲ある新規参入者に権利が継承できる仕組みを考えて、水産振興策を打ち出すべきではないか。

【市長】 7つの漁協がひとつの固まりになっていただいた中で、一緒に施策を練られるか頑張ってみよう。

昨年11月末、東京都世田谷区の職員が羽茂こども園を視察。有識者の間で「保育の質」が評判となっている



一般質問

中川 直美 議員

合特債は、解体計画でなく
建設計画で



【質問】 消費税増税は深刻な佐渡市経済を直撃するが。

【市長】 増大する社会保障にはやむなしと考える。

【質問】 当初予算は暮らし・福祉削減等で否決だったが来年度の予算方針は。

【市長】 交付税減の中、事業の選択と集中で一般財源の更なる縮減を図るが、福祉・子育て等は配慮する。

【質問】 1月の凍結・大規模断水は全世帯の4割に広がった重大事態。総括されていないのは組織上の問題だ。

【市長】 被害検証で凍結防止の市民周知を図っている。

【質問】 警戒体制の遅れが大規模断水に広がった。欠航時は島外支援も期待できない事や高齢者対応などまったく不十分な総括だ。全庁で管理体制等を各部署や幹部会議で総括を行ったか。また、損害額はいくらか。

【上下水道課長】 当課で主催した会議は行っていない。

【防災管財課長】 損害額は1248万円である。

【質問】 市民説明会で両津病院について「7つの県医療圏で佐渡は県立病院もなく県に支援を要請していく」と説明したが、県からの支援額はいくらか。

【市長】 まだ正式な返事はない。

【質問】 市はフェリー等の建造費のときわ丸21億円、あかね8億円、佐渡病院建設に30億円程度支援したが県は一切支援をしていない。

【市長】 「佐渡病院建設の時は公立病院でないから出せない」が県の見解だった。今回は、きちんと要請する。

【質問】 合特債を施設解体に使う場合は公共施設の個別

計画が必要だが、どうか。

【企画財政部長】 総合管理計画でそごがないと考える。

【質問】 市民の疑問の声もあるので解体計画を急ぐべきでない。前回は924人のアンケートも含め3月議会で行っている。住民議論の上ですすめるべき。

【企画財政部長】 意見収集の上、提案している。

【質問】 航路問題は3航路全体の中から検討する方針転換をし、両泊航路廃止を議会に相談なく市長独断で決めた事は今までない。また、離島振興は国会では各党一致で進んでおり船運賃の低廉化などの離島公共交通の拡充方向が求められている中、戦略戦術がない。

【市長】 急な動きで議会に相談できなかった。協議会もやむなしで廃止となった。

使う場合は公共施設の個別

一般質問

北 啓 議員

安全対策と
二輪車を活用した観光戦略を



歩道除雪について

【質問】 今年の3月議会でも取り上げたが、通学路が積雪のため児童が車道を歩かないといけない箇所があり、保護者から心配する声

が寄せられた。歩道除雪に対策はされたか。

【市長】 市道の歩道については要望があれば積雪状況を確認し、対応したいと考えている。また国県道の歩道除雪についても県に状況を報告しながら、県が対応を検討する事になっている。

公用車について

【質問】 市公用車の事故件数が多いと感じている。そこで公用車へドライブレコーダーの設置を提案する。事故防止につながる事と、近年交通事故等での目撃情報を呼びかける看板や警察の

聞き取り調査が多く防犯対策としても効果はあると思うが実施してはどうか。

【市長】 直接的には公用車の事故の際の証拠保全という効果があり、間接的効果として職員の交通事故の抑止および他の事件、事故への協力もある程度期待できるものと考えている。公用車の使用目的に鑑みながら、優先順位をつけ順次設置していきたい。

【質問】 全国的離島では、自動二輪車両を持ち込みできる離島は限られており、限られた離島でしかツーリングができない。また自動二輪車をターゲットにした政策を実施している自治体はなく、実施すれば宣伝効果も高いと考える。以前サイクリングツーリズムという

二輪車を活用した観光を

【質問】 全国の離島では、自動二輪車両を持ち込みできる離島は限られており、限られた離島でしかツーリングができない。また自動二輪車をターゲットにした政策を実施している自治体はなく、実施すれば宣伝効果も高いと考える。以前サイクリングツーリズムという

自転車の観光戦略を提案したが、サイクリングロードの整備やマップの作成なども自転車だけではなく、自動二輪車に対しても同等の政策ができるかと考え、バイクを使った観光政策の実施を提案するがどうか。また、バイクは佐渡汽船航送料金が高いと聞く。島外来島者の自動二輪車利用が適用されているが、自動二輪車と自転車も含めるよう働きかけないか。

自転車の観光戦略を提案したが、サイクリングロードの整備やマップの作成なども自転車だけではなく、自動二輪車に対しても同等の政策ができるかと考え、バイクを使った観光政策の実施を提案するがどうか。また、バイクは佐渡汽船航送料金が高いと聞く。島外来島者の自動二輪車利用が適用されているが、自動二輪車と自転車も含めるよう働きかけないか。

自転車の観光戦略を提案したが、サイクリングロードの整備やマップの作成なども自転車だけではなく、自動二輪車に対しても同等の政策ができるかと考え、バイクを使った観光政策の実施を提案するがどうか。また、バイクは佐渡汽船航送料金が高いと聞く。島外来島者の自動二輪車利用が適用されているが、自動二輪車と自転車も含めるよう働きかけないか。

【市長】 旅のテーマとしてツーリングを楽しむニーズが存在する。経済的な効果も含め今後研究を進めたい。航送費については、若干割高感を感じ得ないところがある。バイクは必ず1台に乗客1人つくので、どのような割引策や低廉策があるか佐渡汽船側と話したい。

自転車の観光戦略を提案したが、サイクリングロードの整備やマップの作成なども自転車だけではなく、自動二輪車に対しても同等の政策ができるかと考え、バイクを使った観光政策の実施を提案するがどうか。また、バイクは佐渡汽船航送料金が高いと聞く。島外来島者の自動二輪車利用が適用されているが、自動二輪車と自転車も含めるよう働きかけないか。

一般質問

祝 優雄 議員

世界遺産登録は 戦略無き誘致活動ではないか



質問 世界遺産登録の環境も大きな変化を見せており、佐渡金銀山についても予断を持つのは控えたいと文化審議会世界文化遺産部

市長 毎年何か所かでセミナーを行っており、そのたびにそれぞれのテーマを作っている。

市長 指摘のとおり、顕著な普遍的価値を表現するには難しい部分があると考えられるか。

質問 世界遺産登録に向けて佐渡金銀山のコンセプトは何か。

市長 佐渡金銀山文化、人の文化という部分だと考えている。

質問 コンセプトを辞書で見ると、実現に向け考えを積み立てる基本概念とあるが、イベントのテーマはどうか。

市長 毎年何か所かでセミナーを行っており、そのたびにそれぞれのテーマを作っている。

質問 コンセプトは基本的な支柱でそうぐらぐらしたり変えたりするものではない。世界遺産条約履行の作業指針にも文化庁の指針にもある漠とした表現に立ち向かうには、どこからも何癖がつけられない「地球愛と人類愛、人に優しい、環境に優しい」以外にバリエーションを打ち破る言葉はないか。

市長 指摘の通り漠としたもので審査員によっても毎年受け取り方が違う。明確な答えがない中、非常に難しい問題だが来年5回目の挑戦に行くしかないと考えている。

質問 今世界の関心は、超高齢化時代を迎え健康で長

生き「人に優しい、環境に優しい」が中心テーマだ。具体的に聞くが、佐渡金銀山の中心的施設である坑道に車椅子の人や障がいのある人たちが利用しやすい施設環境になっているか。

世界遺産推進課長 坑道には段差がある。

質問 車椅子の人たちが近付けない施設では全く説得力がない。今建設中のガイダンス施設の消費電力の全ては環境に優しい再生可能エネルギーで賄う。障がいのある人たちの雇用の場を確保する立場で施設の管理運営は全て障がいのある人たちで行うなどの感覚が必要か。

市長 来春できる予定の施設では再生可能エネルギーのみを活用する施設にはなっていない。市直営の施設として運営する方向だ。

一般質問

金田 淳一 議員

両津港へのアクセス改善と 駐車場の増設を



質問 両泊航路廃止への対応策として、両津港への路線バス接続、県道や市道の改良及び駐車場の増設が必要になるかどうか。

市長 赤泊地区から両津港へのバス接続については、以前から高校や病院へのアクセスについて要望があり事業者と協議をしている。事業の改良は要望している。両津港周辺の駐車場を市管

質問 バス運行について地域の声を聞かないのか。

交通政策課長 昨年高校生や高齢者へのアンケート調査を行い、その分析や利用状況に基づき運行ダイヤ及び路線の見直しをするので、説明会の予定はない。

質問 市長はそれで良いのか。

市長 地域づくり協議会か

らも具体的な要望があるの

で、事業者と検討している。

質問 地域からの幅広い意見を聞くべきだ。航路の時間と同じように決まってから説明するのか。

交通政策課長 地域公共交通活性化協議会での協議や事業者の社内調整、国への届出を経て発表する。その際

質問 どうして地域への問い合わせができないのか。

産業観光部長 早朝や9時台の便への接続の要望もあり、そこをベースにこちらで考えさせていきたい。

質問 どのルートが良いかなど総合的な判断が必要ではないか。決まってからでは納得できない。

交通政策課長 路線バス運行は年間2億2千万円超の赤字であり、車両や運転手は

ギリギリの状況である。全ての要望には応えられない。

質問 市長は航路廃止が決まった時に、佐渡市の責任でやりますと明言しているが、全然違うではないか。

市長 事業者と複数ルートの検討をしているが、それぞれのルートの問題点を踏まえたうえで、説明の場を保持していただきたい。

質問 駐車場は遠方しか空いてなく、長距離の徒歩を強いられる。港近隣に増設すべきではないか。

建設部長 佐渡汽船周辺は港湾区域・公園施設等防災地区であり、公園利用者のものはあるが航路利用者への駐車場増設は困難である。

市長 市民からの要望もあり県と港湾部分について協議している。これは常に取り組むべきと考えている。



一般質問

広瀬 大海 議員

大手IT企業誘致で 若者と障がい者の雇用を



〔質問〕 市長はどのようにして若者の雇用を増やそうとしているのか。

市長 高校生に対する職場見学会や企業説明会、インターシップを推進している。また、企業と行政が一体となって働く場を生み出し、若手雇用のマッチングを行なう事が重要であると考えている。

〔質問〕 市長の具体的な経済政策・雇用政策が見えないと若い人は戻って来ない。会派で視察に行った長崎県五島市では特定有人国境離島法の雇用拡充補助金を活用し、佐渡の3倍の雇用を生み出している。事前の個別相談を佐渡市は市職員が実施しているが、五島市は内閣府アドバイザーが行なっている。同じ制度にして欲しい。

地域振興課長 五島市のやり

方を検討したい。

〔質問〕 長崎県東京事務所は首都圏大手企業や外資系企業の誘致を行なっている。来年度から佐渡市東京事務所の体制強化をして欲しい。

市長 佐渡市東京事務所の再整備について、内部で検討を始める。

〔質問〕 内閣府からIT企業のサテライトオフィス誘致の提案があったと聞くが本当か。

藤本副市長 内閣府のまち・ひと・しごと創生本部から、都会のIT企業のサテライトオフィスの誘致をしている離島もあるとの話があった。

〔質問〕 私が東京にいた頃のIT企業が全国にいくつもサテライトオフィスを作っている。また、障がい者向けのサテライトオフィスを

作って、全国で障がい者を1000人雇用したいと言っている。佐渡市にサテライトオフィスを誘致する事が佐渡の若者と障がい者の雇用を増やす方法の一つだ。積極的に誘致活動をしてもらいたい。

藤本副市長 大いに興味がある。検討したい。

〔質問〕 佐渡市の予算の半分は国からの交付金等の為、佐渡を良くするには国との連携が重要だ。2年前に取りやめた総合政策監を要請すべきだ。

市長 力を貸して頂きたいキャリアを持つている方がいれば、是非要請したい。



一般質問

渡辺 慎一 議員

数字はウソをつかない



〔質問〕 将来ビジョンに定額運用基金10億円を記載除外にしたことを、市長はどのように考えるか。

市長 予算、決算では示しているので法的な問題は無い。意図的に隠したものではない。

〔質問〕 9月一般質問での財政課長の「悩んだが内部検討の結果不記載とした」は重大な善管注意義務違反と思うがどうか。

市長 善管注意義務違反には当たらない。次期将来ビジョンには記載すべきと考えている。

〔質問〕 基金激減理由に市長は災害を含め17億円と答えているが、平成30年度当初予算編成時の災害対応額はいくらか。

市長 931万円だ。

〔質問〕 平成30年度末の財政調整基金当初見込み額を58

億円とした理由はなぜか。

〔質問〕 前年の災害で当初予算は58億円とした。

〔質問〕 9月一般質問において市長も言った「58億円ではなく年度末見込み18億円増の76億円」となる理由は何か。

財政課長 前年度からの不

用残、繰越金があり76億円となった。

〔質問〕 将来ビジョンの市債残高、合併特例債の数字の推移からして35億円の合特債を使い切る計画は盛り込まれてないと見るがどうか。

企画財政部長 計画はあった。

◆数字は何を物語っているか

H29.03将来ビジョン P13

区分	H28	H29	H30	H31
市債残高(年度末)	612	616	611	578
合併特例債	252	271	281	257
臨時財政対策債	168	168	166	164
その他債	192	177	164	158

H30 一般会計当初予算の概要 P24

区分	H28	H29	H30	H31
市債残高(年度末)	593	607	601	
合併特例債	237	259	266	
臨時財政対策債	168	165	161	
通常債	188	183	174	